

2026/01/17

AI@Work 2026 Kickoff

AI@Work 2025年の振り返りと 2026年の活動方針

小林 功 | AI@Work代表



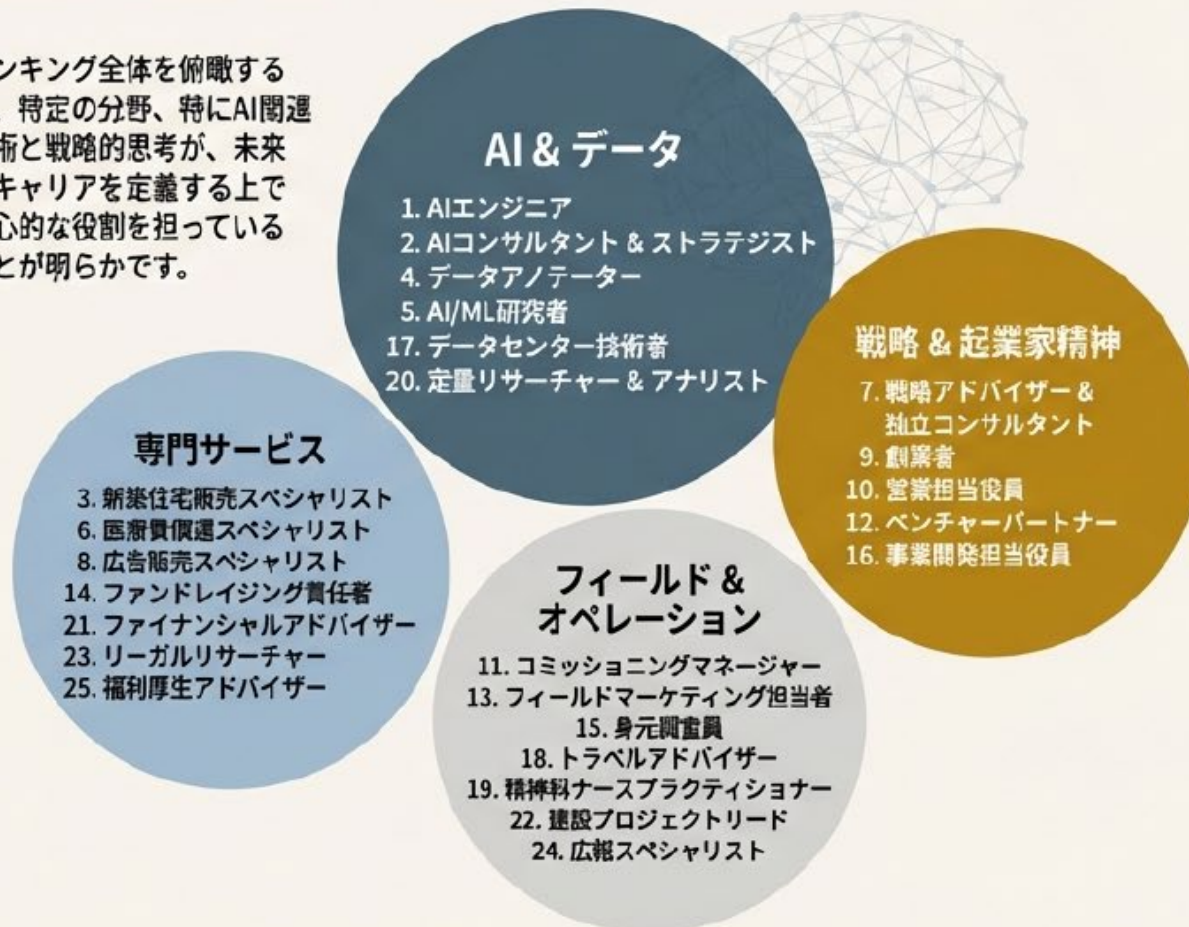
Project
Management
Institute.
Japan

AIが労働市場の未来を定義する：2026年に急成長する25の職種

LinkedIn「Jobs on the Rise 2026」レポートが示す、市場の構造的変化と最重要トレンドの分析

急成長する職種に見る4つの主要トレンド

ランキング全体を俯瞰すると、特定の分野、特にAI関連技術と戦略的思考が、未来のキャリアを定義する上で中心的な役割を担っていることが明かです。



分析：AIの進化が労働市場に与える複合的な影響

レポートが示す通り、急速なAI技術の進化は、現代の労働市場に多岐にわたる影響を及ぼしています。


- 1. 新たな専門職の創出**
ランキングの最上位を「AIエンジニア」や「AIコンサルタント」といった直接的なAI関連職が占めていることは、AIが単なるツールではなく、全く新しい専門分野とキャリアパスを生み出していることを示しています。これらは、技術開発から戦略的導入まで、AIライフサイクルのあらゆる段階を担う役割です。
- 2. 既存職種の変革と高度化**
AIはデータ分析（定量リサーチャー）、インフラ管理（データセンター技術者）、さらには広告販売（AI駆動の戦略）といった既存の職務にも深く浸透し、より高度なデータリテラシーと戦略的スキルを要求しています。
- 3. 戦略的・独立的キャリアへのシフト**
AI時代における市場の不確実性は、「創業者」や「独立コンサルタント」といった、自己の専門性を活かして柔軟に価値を提供する働き方の需要を高めています。レポートでは「創業者」という肩書が前年比69%増加したことも指摘されており、このトレンドを裏付けています。

TOP5職種 詳細分析：AI革命をリードする最前線のプロフェッショナル


ランキング上位は、AI技術の開発、戦略的活用、そしてその基盤を支える役割が独占しています。


1. AIエンジニア (AI Engineers)

“AIモデルの開発・実装を通じて、従来は人間が行っていた複雑な意思決定や予測を自動化・高度化する技術の中核。”

 職務内容：問題解決や予測を行うAIモデル（機械学習モデル）を開発・実装する。


 必須スキル：LangChain, RAG (Retrieval-Augmented Generation), PyTorch


 主要なキャリアパス：ソフトウェアエンジニア、データサイエンティスト、フルスタックエンジニアからの移行が多数。


 求められる経験年数（中央値）：3.7年


2. AIコンサルタント & ストラテジスト (AI Consultants & Strategists)

“組織がAI技術を効果的に導入し、ビジネス目標を達成するための戦略を策定・実行支援する、技術とビジネスの架け橋。”

 職務内容：企業の業務改善や目標達成のため、AI技術の導入計画と実行を支援する。


 必須スキル：大規模言語モデル (LLM), MLOps、コンピュータビジョン


 主要なキャリアパス：創業者、ソフトウェアエンジニア、プロダクトマネージャーなど多様なバックグラウンドを持つ。


 求められる経験年数（中央値）：8.2年


3. 新築住宅販売スペシャリスト (New Home Sales Specialists)

“AIのトレンドとは異なるが、対人スキルと専門知識が重要視される分野の代表格。不動産市場における専門的な販売プロセスを担う。”

 職務内容：新築住宅の購入希望者に対し、物件案内から販売取引の管理まで一連のプロセスをガイドする。

 必須スキル：住宅用不動産、不動産取引、購入者代理

 主要なキャリアパス：不動産業者、セールスマネージャー、不動産アドバイザーからのキャリアアップ。

 求められる経験年数（中央値）：6.5年

ランク	職種	概要
4	データアノテーター (Data Annotators)	AI・機械学習モデルの訓練に不可欠な、正確なデータセットを作成するために、データのラベル付けやレビューを行う。コンテンツマネージャーや編集者からの転身も多い。
5	AI/ML研究者 (AI/ML Researchers)	AIシステムの性能向上を目指し、新しいモデルやアルゴリズムの設計・テストを行う。データサイエンティストやソフトウェアエンジニアからのキャリアパスが主流。

マッキンゼーが「人間がAIに勝てる」3つのスキルを特定。「若手が磨くべき分野」はこれだ！

25,000のAIEージェントが稼働する現場で見た、人間が磨くべき「3つの不可侵領域」

AIの領域：圧倒的な「処理」能力

McKinsey Internal Data (CES 2026)



25,000

AI Agents (Active)



1.5M

Hours Reduced/Year
Search & Summarization



2.5M

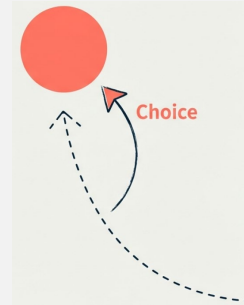
Graphs Created (6 Months)

検索、要約、資料作成などの「作業 (Task)」は、もはや人間が時間を割く領域ではない。

1. 志を抱く能力 (Ambition)

行き先を決めるのは人間

「低軌道を目指すのか？
月を目指すのか？
それとも火星を目指すのか？
その選択は人間にしかできない」



2. 判断力 (Judgment)

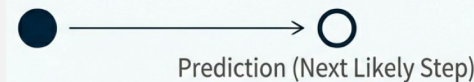
AIに「正解」はない。基準を作るのは人間



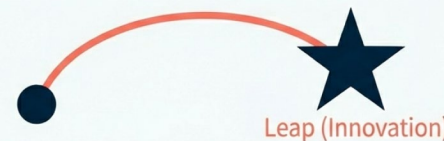
3. 真の創造性 (True Creativity)

推論モデルを超えた「飛躍」

AI - Generative



Human - Creative

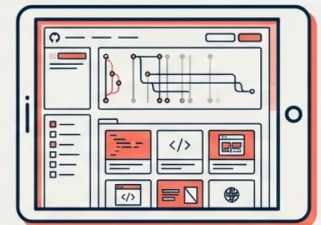


「どこで学んだか」より「何を作ったか」

学歴社会の終焉 「真の実力主義」へ



Education Brand



Tangible Output

AIの「使い手」として、指針（ガイドライン）を定める 能力こそが 武器になる

AI@Work2026 体制

WG1

PM4AI

Leader 小林 功

Sub Leader 小山 恵一郎

研究グループ: 6

WG2

AI4PM

Leader 三五 大輔

Sub Leader 一柳 晶子

研究グループ: 4

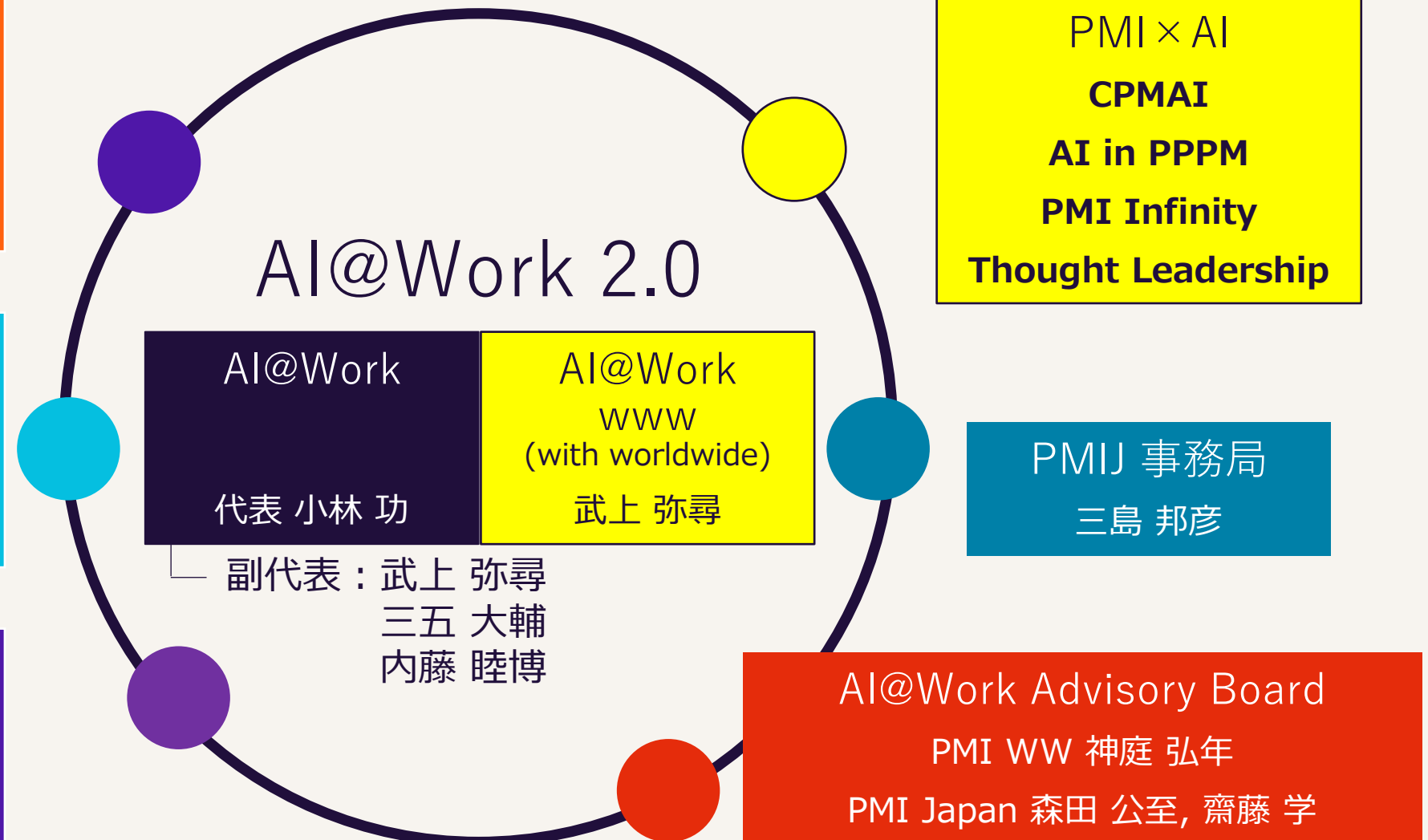
WG3

AIK4PM

Leader 内藤 睦博

Sub Leader 足立 昌浩

研究グループ: 2



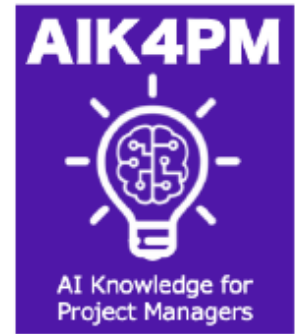
AI@Work (as of 2026/1/8)

<https://www.pmi-japan.org/aiatworkcommunity/>



ミッション

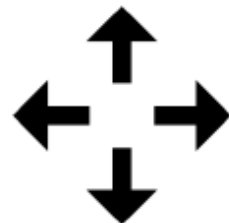
社会や経済に新たな影響力をもつAI、
その適用・活用をプロジェクトマネジメント
の視点で捉え、あるべき姿や進め方を
探究・共有する



327人 **94-108**人 **6,894**ファイル



メンバー



アクティブ・メンバー



検討資料・成果物



Web会議

2025年成果①

PMI日本支部フォーラム2025 講演

2025は6講演を発信し、2講演がベスト10入り！

G-03

PM×AI
～進むAI活用、成功への道筋を掴む～

PMI Japan Forum 2025 July 12-13
Excellent Speaker
Communities of Volunteers
PMI Japan Chapter

武上 弥尋 渡邊 恒文

AI@Work

G-05

プロジェクトマネジメント領域
におけるAIレベル定義と
グローバル視点で拓く
次世代プロジェクトマネジメント

PMI Japan Forum 2025 July 12-13
Excellent Speaker
Communities of Volunteers
PMI Japan Chapter

三五 大輔 今井 景子

AI@Work

G-07

【明日から使える】
プロジェクト管理と人材管理への
実践AI適用

一柳 晶子 栗野 哲兵

AI@Work

G-04

AIエージェントの最前線
～ AIプロジェクトにおける動向と
科学的介護情報システム「Life」
を元にした仮想プロジェクトでの活用検討

川田 米太郎 内藤 睦博

AI@Work

G-06

AIシステム開発プロジェクトにおける
品質およびリスクマネジメント
～介護用AIカメラシステムを題材に～

早川 浩司

AI@Work

G-08

データドリブンなAIプロジェクトを
多面的な観点で成功に導く

小林 功

AI@Work

2025年成果②

PMI&PMI日本支部&AI@Work共同開催講演(9/5)

PMI&PMI日本支部&AI@Work 共同主催：可能性から力へ ～AI革命を活かし、変革とリーダー シップを実現する～

2025年9月5日（金）午後5時00分～午後7時30分
鉄鋼エグゼクティブラウンジ&カンファレンスルーム 4階（ルーム3・4・5）



海外からのセッション参加者

Kathleen Walch	Director, AI Engagement & Community
Lucila Dotto	Head of Sustainability, PMI GPM JV Lead
SoHyun Kang	Regional Managing Director, Asia Pacific
YeYoon Kim	Regional Head of Community, APAC
Yolanda Kim	Chapter Engagement Specialist - Northeast Asia
Osamu Okuhara	Partner Success Manager - Japan
Izumi Takeda	Channel Program Specialist
Xing Ying Lee	Chapter Engagement Specialist - Australia & New Zealand)
Umairah Kuzaini	PMI Event Planner
Oyunbileg Erendoo (Oyuna)	Region 9 mentor



キャスリーン・ウォル
チ氏



日本支部 AI@Work講演
者

Agenda

16:30 - 17:00

受付・ご着席

17:00 - 17:05

開会のご挨拶

17:05 - 17:35

キャスリーン・ウォルチ氏 基調講演

17:35 - 18:05

日本支部 AI@Work講演

AI@Work www 武上弥尋 AI@Work PM4AI 小林功 AI@Work AI4PM 三五大輔

AI@Work AIK4PM 内藤睦博

18:05 - 18:30

パネルディスカッション&Q&A

武上弥尋

18:30 - 19:30

ネットワーキング・軽食タイム

2025年成果②

PMI&PMI日本支部&AI@Work共同開催講演(9/5)

PMI/CPMAI/キャスリン、APAC Key Person他の海外のKeypersonと、
熱くセッションを開催！

YouTubeで現在も視聴可能です！



<https://youtu.be/0yWtJf-ljjk>

2025年成果③

CPMAI 資格取得推進

CPMAI には 6 つの主要なフェーズがあり、すべて反復的でデータ中心

最も重要なことは、**ビジネスの理解**であり、**利用可能なデータの理解**である！

CPMAI フェーズ I: ビジネスの理解

- 「ビジネス上の問題を AI ソリューションにマッピングする」

CPMAI フェーズ II: データの理解

- 「問題に対処するために適切なデータを入手する」

CPMAI フェーズ III: データ準備

- 「データ中心の AI プロジェクトで使用するためにデータを準備する」

CPMAI フェーズ IV: モデル開発

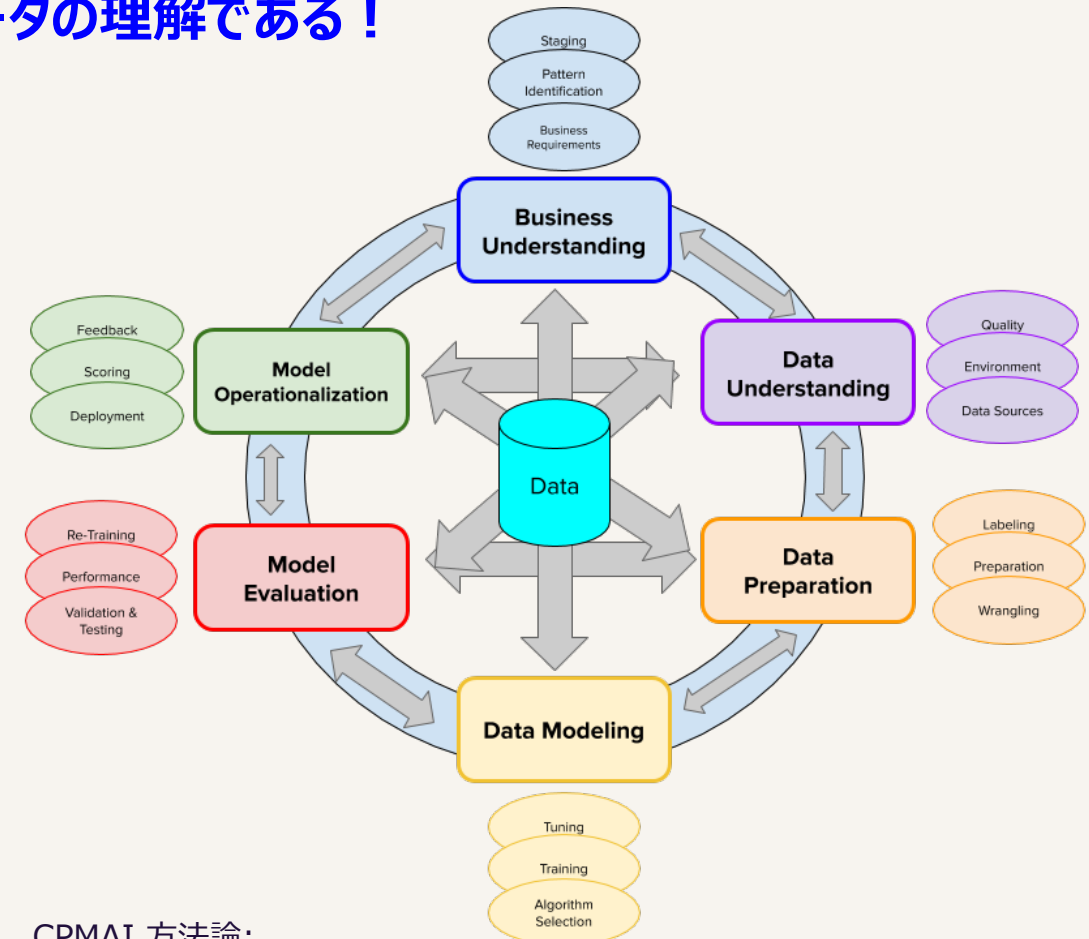
- 「ビジネスの問題に対処する AI ソリューションの作成」

CPMAI フェーズ V: モデル評価

- 「AI ソリューションが現実世界とビジネスのニーズを満たしているかどうかを判断します。」

CPMAI フェーズ VI: モデルの運用化

- 「AI ソリューションを現実世界で活用し、反復して価値を提供し続ける」

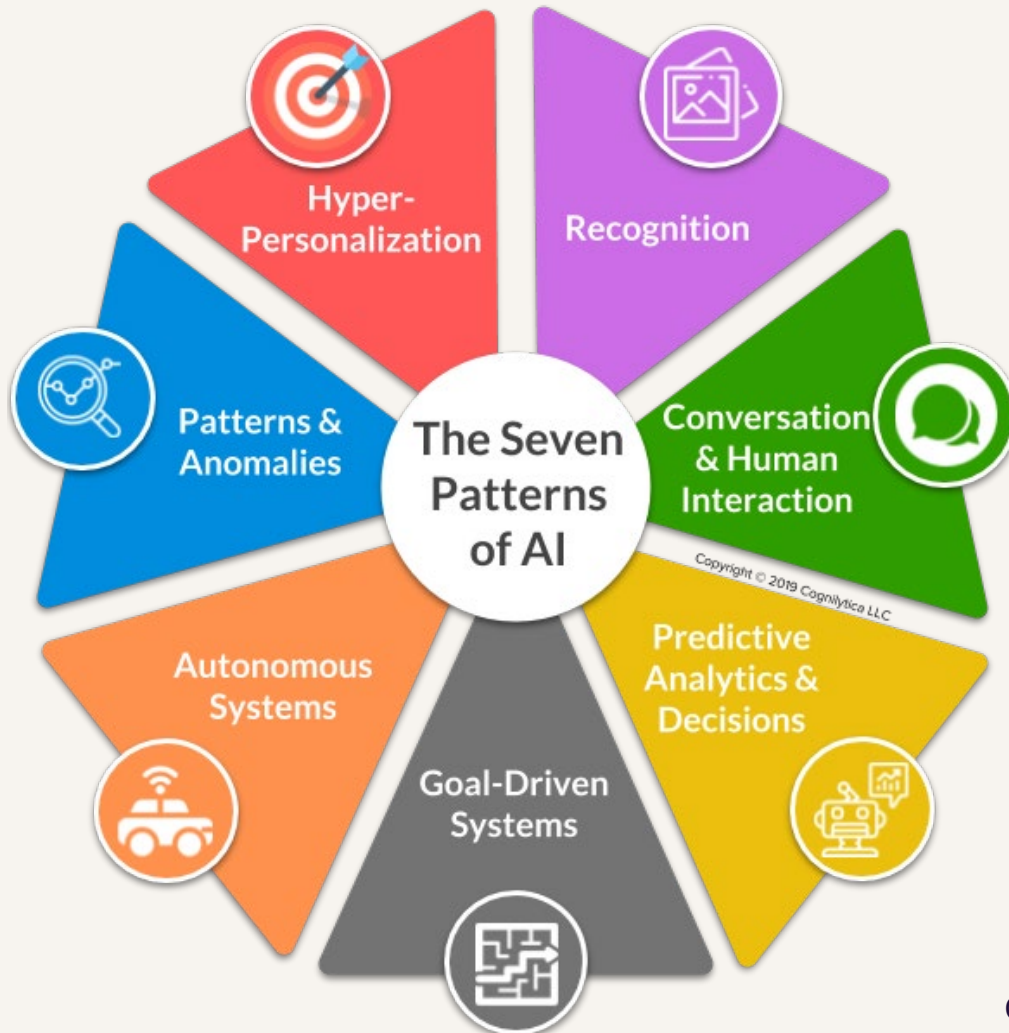


CPMAI 方法論:
出典: © Cognilytica

2025年成果③

CPMAI 資格取得推進

適用するAIプロジェクトが、Cognilyticaの7つのパターンのどれに該当するかを識別することで、無駄なく迅速に最適な手法を選択できる。



Cognilyticaが言っている事：

AIプロジェクトは、7つのタイプでそれぞれ進め方が異なる！

- (例) ・画像認識のプロジェクト
・自動運転のプロジェクト
・予測分析による経営の決定支援プロジェクト

これらは、十羽一絡げで、同じ手法で進められるものではない

すなわち、進めようとするAIプロジェクトが、どのタイプに属するかを、素早く見極める、要素分解するなどすることが重要！

また異なるタイプ、それぞれに最適な手法を、反復可能なデータドリブンで進める方法論の確立が必要！

2025年成果③

CPMAI 資格取得推進

AI@Workコミュニティで
CPMAI資格取得者：4名

資格取得チャレンジ中：数名

またPMIのCPMAI翻訳
ボランティアにも従事：3名

CPMAIは、PM×AIを学ぶ最適なコース
グローバルで有効な資格

- 試験内容120問（160分）の試験 PMI-CPMAI examination Content Outline(ECO)（右のQRコード参照）
- ECOによると、2026年1月には日本語を含む8ヶ国語に対応する予定とある。



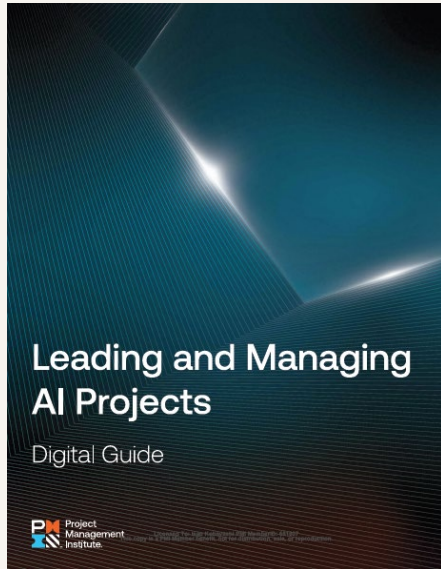
2026年マスタースケジュール

2020年開始からの成果も踏まえ、国内外での情報発信拡大と、PM×AI領域でのPMI Globalとの連携を強化

2025-2026	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
AI@Work Kick off & 対外発信・成果共有		▲ 2026 Kick off	←-----→ AI@Work Conference #9		←-----→ SME Discussion #4		▲ PMI Japan Forum(講演n枠)		←-----→ SME Discussion #5		←-----→ AI@Work Conference #10		
PMI Global Summit APAC 2026 (日程は仮記入)		▲Submit	▲Invitation	Draft▲	▲Confirmation		→	▲PMI Global Summit					
AI@Work www(with worldwide) Collaboration推進		Collaboration & Realization①						Collaboration & Realization②					
Cycle13実施 - PM4AI, AI4PM, AIK4PM		#1 ▲	#2 ▲	#3 ▲	#4 ▲	#5 ▲	#6 ▲						
Cycle14実施 - PM4AI, AI4PM, AIK4PM								#1 ▲	#2 ▲	#3 ▲	#4 ▲	#5 ▲	#6 ▲
Retrospective & Planning	→ 2025 Retrospective & 2026 Planning						→ 2026 1H Retrospective			→ 2027 Planning & 予算			

PMIの AI関連 リソース

<https://www.pmi.org/learning/ai-in-project-management#ai-insights>



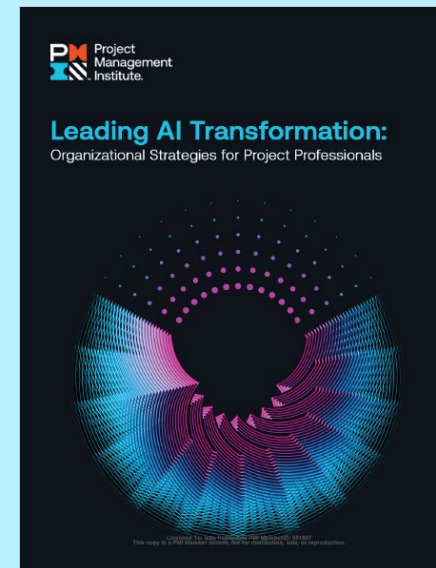
Leading and Managing AI Projects Digital Guide

CPMAIの方法論のガイド。
AI をビジネス目標に合わせ、
ガバナンスと倫理を組み込み、
企業全体での導入を促進する
ための手順を段階的に説明



AI Essentials for Project Professionals

日常のプロジェクト管理に AI
を組み込むための基礎知識と
実用的なアプリケーションにア
クセスします。



Leading AI Transformation

このガイドは、企業全体の成功
のために AI を活用、拡張、制
度化するためのフレームワークを
PMO、TMO、プロジェクト マネー
ジャーに提供し、イノベーションを
推進するのに役立ちます。